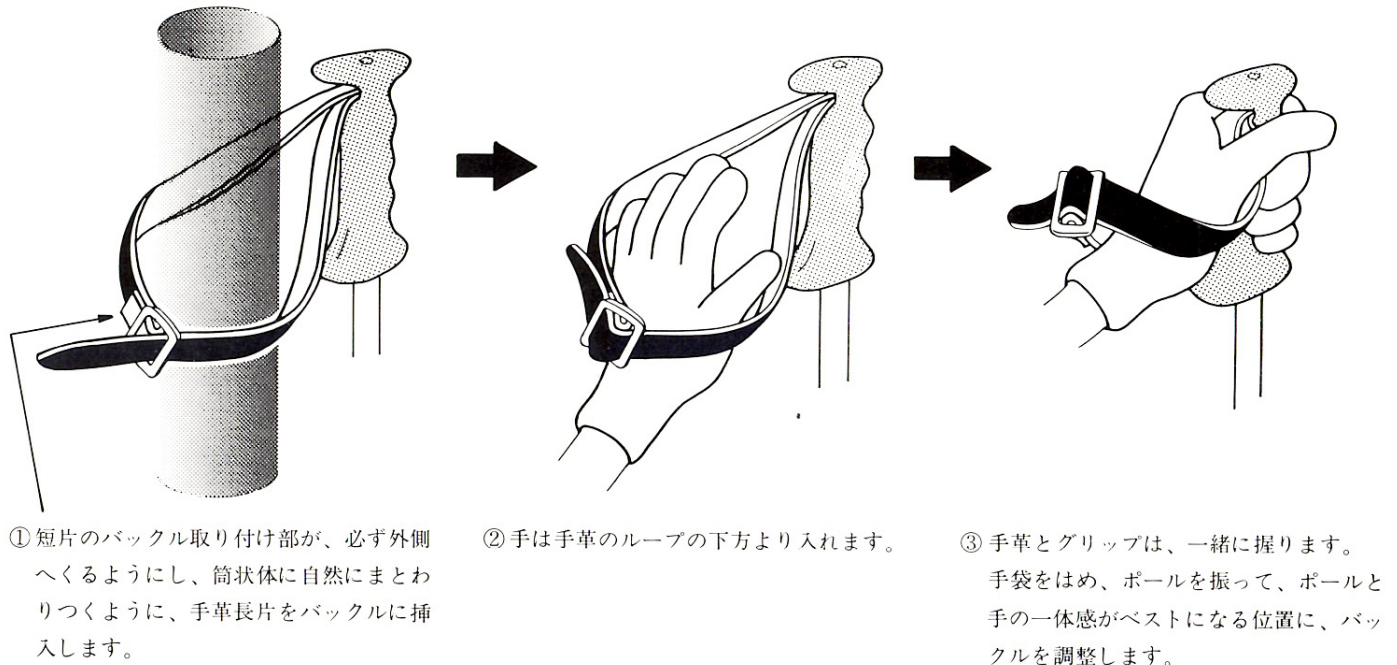
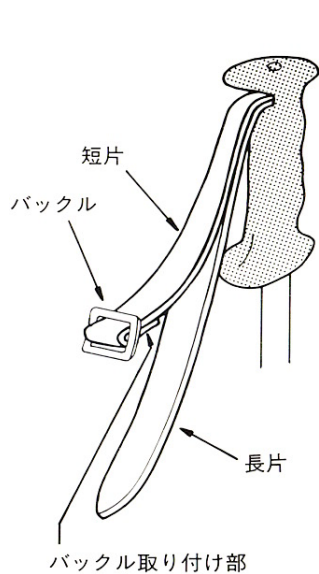


テカワ スキー・ポール手革の正しい組み方と握り方

ゲレンデで時折、手革の組み方と握り方が不自然なスキーヤーを見かけます。簡単なことですから、最初に正しく理解しておきますと、ポール操作の上達、ひいては、スキー技術の向上も速くなり、楽しいスキーができます。

左手用



参 考

- ① ここに図示されたものは左手用です。右手用はこれと全く対称の状態になります。
- ② この説明は当社の標準方法です。スキースクール等では、短片と長片のくり出し方向を逆に指導していることもあります。この場合には、バックルを通した長片が身体の方に向かいます。
- ③ メーカーによっては、手革をグリップへ逆(短片を下に、長片を上側)に取り付けた製品が、まれにあります。この場合でも、組み方と握り方は基本的に同一です。